



NEWS RELEASE

株式会社 **平和堂**

〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地



2022年6月1日

平和堂グループのサステナビリティ 地域の健康に貢献します！

6月食育月間 京都市「そうだ、野菜とろう！」キャンペーンに参加！

「1日の野菜摂取目標量 350g」をテーマに健康啓発を実施します！

6月1日(水)～30日(木) フレンドマート MOMO テラス店 & アル・プラザ醍醐

株式会社平和堂は、6月食育月間に京都市が実施する「そうだ、野菜とろう！」キャンペーンに協力し、6月1日(水)から30日(木)までフレンドマート MOMO テラス店とアル・プラザ醍醐において、野菜摂取の促進と健康意識の啓発を目的としたキャンペーンを開催します。



京都市食育月間

「そうだ、野菜とろう！」キャンペーン

京都市は、2013年度から開始している「健康日本 21（第二次）」^{※1}において、成人の野菜摂取量の目標量 1日 350g の目標達成に向けて、食育月間である6月1日から1ヶ月間、市内各所においてキャンペーンを行っています。

平和堂が協力するキャンペーンの取り組みとして、京都市のポスターおよびのぼり等の設置による啓発活動、京都市作成の啓発動画の店内関連売り場での放映、地場野菜（京都近郊野菜）の普及啓発と販売促進を実施します。食品メーカー様にご協力いただき、クッキングサポートコーナーで野菜摂取拡大をテーマにしたメニュー提案や講座の開催を予定しております。

この他、把握しづらい自分の野菜摂取量を推定できるデバイス、「ベジチェック[®]」を活用した無料の野菜摂取測定会の開催も計画中です。

平和堂では、企業理念として「お客様と地域社会に貢献し続ける企業」を掲げており、「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指しています。これは、地域の抱える課題について地域と一緒に取り組むことで、明るく元気で、健康な地域を創っていくという「地域共創」が根幹であり、地域の持続的な成長に貢献し、地域経済が活性化し、社会がより良くなっていくことが、平和堂の成長と理念の実現に繋がると考えています。こうした考えのもと、食を扱う平和堂は、地域の健康に関する様々なイベントを開催しています。

「1日に必要な野菜の摂取量は？」 「1日にご自身がどれだけ野菜を摂取しているかご存知ですか」

日本人の1日の平均野菜摂取量は、厚生労働省が目標として掲げる1日 350g に届いていません（令和元年国民健康・栄養調査では1日平均 280.5g）。身体に良いとされる野菜の摂取量が少ないという健康課題について、今回は京都市と一緒に取り組めます。

<実施概要>

- 1.期間 2022年6月1日(水)～6月30日(木)
- 2.場所 フレンドマートMOMOテラス店
京都府京都市伏見区桃山町山ノ下 32
アル・プラザ醍醐
京都府京都市伏見区醍醐高畑町 1の37
- 3.実施内容 ①京都市のポスターおよびのぼり等の設置による啓発活動
②京都市作成の啓発動画の店内関連売り場での放映
③地場野菜(京都近郊野菜)の普及啓発と販売促進
④食品メーカー様にご協力いただき、クッキングサポートコーナーで野菜摂取拡大をテーマにしたメニュー提案や講座の開催
⑤「ベジチェック®」を活用した無料の野菜摂取測定会の開催
6月14日(火) FMMOMOテラス店、6月15日(水) AP 醍醐
※測定会の詳細は店頭にてご確認ください。



京都市の「そうだ、野菜とろう！」キャンペーン 店頭POP・のぼり(一例)

- 4.その他 新型コロナウイルス流行状況等により、実施内容の変更やキャンペーンが中止になる可能性があります。

このほか、平和堂では、サステナビリティの推進として、地域循環「地域の健康」に取り組んでいます。「地域が元気」＝「人が元気で地域活動が活発で地域経済が回っている状態」であるために、地域の方々と連携した様々な取り組みを実施してまいります。詳しくは、「平和堂レポート2022」をご覧ください。



平和堂レポート2022 <https://www.heiwado.jp/hr/report>

平和堂のサステナビリティ <https://www.heiwado.jp/csr>



<平和堂グループの中長期ビジョン・中期経営計画（第四次）>

「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指す

実現したい世界

人々が暮らしていく中で、その地域が住みやすく、健康的で活気があり、助け合いの精神が息づいている。そのため、高齢者にとっても不自由の少ない、将来を担うお子様にとっても伸び伸びと育ち、子育て苦勞が軽減されるような環境、雰囲気がある。地域の文化を大切にし、環境保全の意識も高い。それらの状況は、活発な地域交流と心地よい人と人のつながりがもたらす。

平和堂成長のターゲット

健康	子育て	高齢者
「平和堂健康ラボ」を立ち上げ、健康の研究と重点取り組みの実践への橋渡しをする体制を構築(正しい知識と食、生活習慣等生活全般での連動した取り組みの構築)する	平和堂「らぶきっず」の未来像を描き、全社的な取り組み(子育て支援含む)として具体化する	健康寿命と平均寿命を目指し、生涯元気であるための様々な取り組みを進める



「地域になくてはならない存在」の実現に向けて、「平和堂ならではの地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指します。

継続して成長していくためには、「地域が元気であること=活性化している地域経済」が前提であると考えます。地域の活性化を促進し、結果として平和堂の成長を実現します。

また、「地域の健康」に貢献するためには、地域生活の安全安心・活性化の取り組みに対して高い信頼性を得ることが必要です。

事業ポートフォリオ基本方針

スーパーマーケット事業 さらなる地域貢献のため新たな業態開発と安定成長	総合小売業 成長ターゲットに対応した売場への進化、それによる魅力あるショッピングセンターづくり	平和堂(中国) 既存店舗のブラッシュアップ
書籍販売事業 魅力あるショッピングセンターづくりに欠かせないものとして、自社ショッピングセンターを中心に展開	フィットネス事業 「健康」ターゲットに欠かせない業種として引き続き拡大展開	外食事業 「子育て」世代の需要、「高齢者」と子・孫三世が集いの場としての需要に対応したファミリーレストラン展開

<※1> 全ての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を目指し、生活習慣病やその原因となる生活習慣の改善などについて厚生労働省が掲げた目標で、「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」など 5 つの柱から構成されています。

<カゴメ株式会社>

ホームページ「企業・自治体向けのレンタル・リースサービス「手のひらかざして『ベジチェック[®]』」で、健康経営および健康推進をサポート」

<https://www.kagome.co.jp/products/healthcare/column/vegecheck/>

<注意事項>

- ・当リリースに記載されている内容は、全てリリース時点での情報に基づきます。
- ・当リリースに使用しているパース、イラスト、写真、ロゴ、サイン、地図等はイメージですので、実際とは異なる場合があります。
- ・都合により予告なく内容やスケジュールを変更する場合がありますので、予めご了承ください。

以上